

みやはら耳鼻科通信

発行/ 医療法人 南輝 〒702-8034 岡山市南区福浜西町6番 17 号 ☎086-237-4133

木曜日の診療開始！

LINEでお得なクーポン

診療時間 8:00～12:30

配信！登録はコチラ⇒



インフルエンザ予防接種をしています 予約不要！お一人3200円 3才以上のみ

※東振協の補助金が出る方は10月の早割の適用されませんのであしからずご了承ください。

ヨーロッパではコロナが再び蔓延し始め、世界的にもこれからが勝負になってきそうです。そんな中、今夏の感染症で大きな変化が出ていました。昨年は夏以降にインフルエンザが流行した沖縄県は9月時点でも感染者が0人。さらに足元の岡山市でも皮膚科の先生から貴重な情報を教えてもらいました。皮膚科のクリニックは夏には手足口病で30人ぐらいいは患者さんの診察があるんですが、今年の夏は皮膚科のクリニック5カ所で合計の患者さんを1名。なんと例年の夏なら150名ほど診察があるはずが1名しかいないと言う事なんですね。

断言はできないのですが、これはこの秋から冬にかけての感染症対策をどうやっていけば良いのかを示しているように思います。

1. **手指消毒の徹底。**

2. **ソーシャルディスタンスの確保。**

2.については難しければ**マスクでカバー**。そのため2.の対策が難しい飲食店での飲み食いをどうするかもカギになりそうです。また、コロナ感染の流行地(首都圏など)への出入りを控えるのも地味ですが大事かと。

当院のインフルエンザの予防接種のメリット！

耳鼻科の診察も一緒に受けれます。

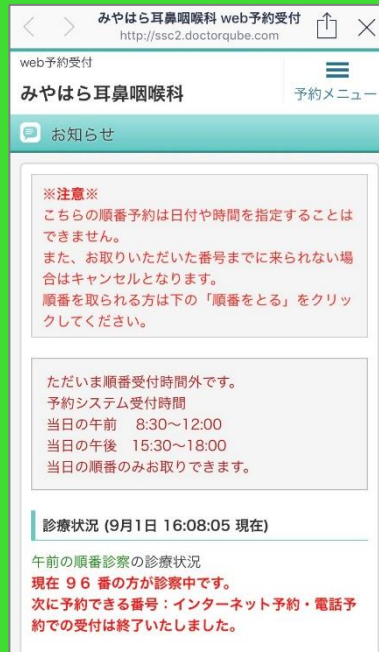
「耳あかが気になる・・・」「鼻水が出ている・・・」

そんな方は予防接種の時に一緒に治療が受けれます！

耳や鼻やのどでお困りのことがあれば一緒に悩みを解決してしましましょう！

自分自身今年10月に東京都内で日本鼻科学会が開催された際にそこでのシンポジウム「鼻科のオンライン診療」のシンポジストとしての登壇は出張せずzoomでクリニック内から行いました。これから正念場を迎えるコロナ対策、発熱と言う意味でコロナと見分けがつかないインフルエンザの対策もインフルエンザはワクチンがありますので予防接種を早く受けてほしいものです。ところで、耳鼻科の領域では「のどが痛くなりひどくなると熱が出る」というのは必然の結果なのですが、これがこの秋から冬にかけては非常に意味をもつことに最近気づきました。コロナへの警戒として「37.5度以上の発熱」はNGという風潮になっています。しかし咽頭炎や扁桃炎で熱がでるのはごく自然な現象。そこで気を付けたいのが「のどが痛くても我慢したり市販薬で済みます」ということです。ばい菌が悪さをしている咽頭炎や扁桃炎ではばい菌をやっつける抗生物質をのむのが治す近道なのですが、抗生物質はお医者さんの処方がないと受け取れません。薬局やドラッグストアのカゼ薬には抗生物質は入っていないのです。ですので、「のどが痛いな・・・」と思ったら**適切な対応をせずにできるだけ早く耳鼻科を受診して熱が出るのを防ぐこと**をお勧めします！また市販の頭痛薬をちよくちよく飲む方はそもそも「解熱鎮痛剤」なので「熱は勝手に下がって」います。繰り返す頭痛は痛み止めを飲むのではなく、頭痛につよい「まかベクリニック」（岡山市北区）で相談することをお勧めします。

LINEで診療の順番予約が取れるようになりました！



とっても便利ですよ～

QRコードを読むだけの簡単登録はこちらから

